

弥彦村社教だより

令和3年3月24日 NO.20
弥彦村社会教育委員の会

《村山地区のボランティア活動を紹介》

「村山地区で子ども達の登下校の見守りを熱心にされている方々がいる」ということを聞いて、お話を聞かせていただきました。お話を伺ったのは、活動の中心となっている古川耕栄さんです。

活動のきっかけは、地域の保護者の方から「仕事をしていても、ちゃんと家に帰ってきているか心配」という声が上がったことだそうです。古川さんが子どもの頃は、近所の大人達が見守ってくれていたことを思い出し、今度は地域に恩返しをする番だと強く思ったそうです。

そこで、自分一人で毎日の活動が続けることが難しいと思い、地域の人達に声をかけたそうです。古川さんの話を聞いて「みんなで協力して活動するなら地域のためにしてみようか」と、4人の賛同者が集まり、5人で登下校の見守り活動を始めたそうです。

活動当初は大人も子ども達も、互いの顔が分からず、挨拶さえもしない状況でした。今では毎日顔を合わせるようになったことで、大人はもちろん子ども達からも挨拶や話をしてくれるようになったそうです。また、地域の保護者の方からも感謝の言葉をかけられるようになったり、今まで交流がなかった世代の方とも関わるようになったりしていると話してくださいました。そして、日々の活動をしながら、見守り場所の検討を続け、他地区の子ども達も一緒に見守ることができる場所に変更する等、常に子ども達の安心・安全を考えてくださっています。

村山地区の方々は、「防犯カメラも良いが、やっぱり大人と子ども達が顔と顔を合わせて、声をかけ合い、表情を見ることが大切だと思っている。そのことが、犯罪抑止につながる。」と強調されているそうです。これからも子ども達が元気に明るく安心して、安全に登下校ができるように、村山区長をはじめ地域全体で協力していきたいと、強く語ってくださいました。

(文責 地域教育コーディネーター 阿部千恵)



《教育委員・社会教育委員懇談会》

3月4日(木)に教育委員と社会教育委員の懇談会を行いました。社会教育委員は「住民の声を行政に反映させる」という役割を担っています。本来、社会教育委員は独任制ですが、独自に活動するには限界があるとの考えから、平成26年から「社会教育委員の会」が発足しました。会で活動を進める中で、活動を広く村民に周知してもらうことが重要と、交流会の開催や社教だよりの発行を始めました。

教育委員会の諮問に応えることも社会教育委員の役割の一つであることから、社会教育委員の活動を知ってもらうために、平成30年度から懇談会を開催しました。去年は、新型コロナウイルスのために開催できず、2年ぶりの開催となりました。

懇談会では、那須委員が今年度の活動と来年度の提言として、次のページの説明をしました。

<活動の方針>

1. **スキルアップ**・・・各種研修会に参加することにした。新型コロナウイルスの影響で研修会が中止となり、長岡市で行われた全国社会教育大会にしか参加でなかった。他市町村視察研修も断念した。委員の会で研修し、燕市との合同研修会を実施した。
2. **活動の充実**・・・第6回地域づくり交流会を11月に実施した。「あいさつ運動」「PR動画コンクール」の実施に向け取り組んだ。
3. **活動の輪を広げる**・・・村広報誌、社教だより等で活動を周知した。委員一人一人が多くの人に声をかけ、各種行事に参加し、多くの機会でのPRをした。

<具体的な取組>

1. **PR動画コンクール**・・・来年度開催に向け、実行委員会を立ち上げ、作品募集のためのPR動画を作成して公開し、準備を進めている。
2. **弥彦村あいさつマーク運動（仮称）**・・・5年間にわたる計画を立て実行していく。全国社会教育連合から補助金3万円を受け、活動のための資金を確保した。
3. **地域づくり交流会**・・・小・中・高校生を含む39名が参加した。上越市や新潟市、燕市からも参加があり、当日、急遽飛び入り参加もいて大変盛り上がった。
4. **社教だより**・・・3月末までに5号発行。
5. **全国大会**・・・新潟県内だけの参加でがっかりした。取組の発表ブースを確保した。
6. **合同研修**・・・来年度中越地区社会教育研究集会の開催地ブロックとなる燕市と、顔合わせを兼ねて研修会を実施した。各市村の取組紹介をし、新しい時代の生涯学習・社会教育の講話を聴き、次年度の研究集会の内容について協議した。互いに良い刺激を受け、次年度以降も続けていくことになった。

<事業報告>

- 5/12（火）16：00～任命式、研修 6/16（火）16：00～第1回委員の会
7/21（火）16：30～第2回委員の会 10/1（木）16：30～第3回委員の会
11/12（木）全国社会教育研究大会、第4回委員の会（移動の車中）
11/28（土）15：30～第6回地域づくり交流会
1/25（月）13：30～燕市・弥彦村合同研修会
2/16（火）16：30～第5回委員の会 3/4（木）15：30～教育委員との懇談会

<令和3年度への提言>

- ① 社会教育委員の会
 - ・あいさつ運動を全員で協議。補助金と活動費を有効に活用。
 - ・交流会を次年度も開催し、協議テーマを検討。 ・合同研修を継続。（燕市と）
 - ・委員の会開催日時を平日の遅い時間に ・中学校部活動の地域移行を協議。
- ② 村の社会教育（社会教育事業報告を受けて）
 - ・委員を増員する。 ・活動のための予算付けをお願いする。
 - ・弥彦村の特産を作るなどのワークショップを。（食・美術等）

懇談の場では、教育委員の方から活動に対し質問を受け、回答しました。活動に対する賛辞をいただき、委員の増員と活動への予算付けを了承していただきました。また、社会教育委員の会で、子育てに関する意見をまとめてほしいと要望を受けました。懇談会の内容を生かし、次年度の活動を進めていきたいと思っております。 （文責 渡辺）

《PR動画コンクール実行委員会の紹介》

昨年12月に第二回弥彦PR動画コンクール実行委員会が立ち上がりました。毎月一回の会議を経てコンクールの概略も決まり、正式な募集告知に向けて着々と準備しています。

前回の動画コンクールを基本に進化を目指し、今回は動画部門（短編作品、長編作品）及びキャッチコピー部門の2部門3作品で実施します。詳しくはこれから発表される募集告知のポスターをご覧ください。

今回も実行委員のメンバーになったお二人を紹介します。



（文責 石井）

～PR動画コンクール実行委員になりました～ 二村清人さん

弥彦村商工会青年部の部長をさせていただいております二村清人と申します。青年部を代表してPR動画コンクール実行委員会の活動に協力させていただいております。

Youtubeを使い弥彦を発信していくPR動画コンクールは私達弥彦村で商売をしている者としても、新しい弥彦の魅力を伝えられる良いチャンスとっております。

PR動画コンクールが成功するように実行委員会を盛り上げていきたいとっております。よろしくお願いいたします



～PR動画コンクール実行委員になりました～ 笹崎人資さん



この度弥彦PR動画実行委員になりました、笹崎人資と申します。神社前で旅館を営んでいます。

私自身、日々仕事でお客様と接していると、弥彦の説明をする機会が多くあります。その度に弥彦の魅力に改めて気付かされます。動画コンクールは、そんな魅力ある弥彦を再発見できる良い機会だと思いました。また、弥彦の魅力を、皆様の作品を通してたくさんの人達に伝えられるよう頑張ります！よろしくお願いいたします。

《燕市との合同研修会を開催》

1月25日（月）午後3時から、弥彦総合文化会館を会場に、燕市と弥彦村の社会教育委員合同研修会を初めて開催しました。燕市から6人の委員と市役所職員2人、本村からは3人の委員と教育課職員2人が参加しました。来年度8月26日に燕市を会場に中越地区社会教育委員研究集会が開催されます。燕市と弥彦村が運営担当となることから、委員・職員の顔合わせと、研究集会のテーマと講演内容について協議するために開催されました。



研修会の様子

開会あいさつと自己紹介ののち、燕市、弥彦村の社会教育委員の会が、それぞれの取り組みについて、資料をもとに紹介しました。

ついで、弥彦村公民館長から「新しい時代の生涯学習・社会教育」と題する講話があり、令和2年9月に中央教育審議会生涯学習分科会から示された最新の情報を共有しました。

その後グループ協議に入り、研究集会のテーマと講演会の内容を何にしたらいいか話し合いました。様々な意見が出ましたが、「ICT社会に求められる人とのつながり - 社会教育委員としてできること」というテーマはどうか、ということになりました。また、分散会では「多様な世代の人々がつながり、共に学びあう社会にするため」、「どんな機関とつながることができるか」、「どんなことができるか」、「どんな障害（壁）があるか」、などについて話し合ったらどうかという意見も出ました。

最後に、当日おいでいただいた中社連事務局（中越教育事務所副参事社会教育主事）の浅野哲司様から講評をいただき閉会となりました。2市村の社会教育委員研修会は今後も続けられる予定です。

（文責 柏原）

《社会教育委員の会＊今年度の反省》

今年度は、社会教育委員の会に限ったことではありませんが、新型コロナウイルスの影響を受けた一年でした。委員のスキルアップを図るために各種研修会に参加をする予定が、その殆どが中止となりました。他市町村への視察に行くことも考えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から断念しました。

唯一、長岡市で行われた『全国社会教育大会』に参加することはできました。しかし、本来であれば全国各地から社会教育関係者が一堂に会する全国大会の会場が、新潟県内からの参加限定の大会に縮小開催となってしまいました。そんな中で、弥彦村は市町村展示ブースで、村の観光をパンフレットでPRするとともに、委員の会の活動を紹介するための過去取組を模造紙にまとめて掲示し、社教だよりを設置しました。大勢の参加者が足を止めて、掲示に目をやり、社教だよりとパンフレットを手にしていました。他市町村の参加者に良い刺激を与えたと考えています。

大会の縮小や研修会の中止といった残念な事ばかりではなく、来年度予定されている『中越地区社会教育研究集会』の開催地ブロックで共に研究集会を運営する燕市の社会教育委員の皆さんと、初めての合同研修会を開催しました。お互いの取り組みを紹介したり、研究集会の内容について協議をすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

毎年恒例となっている『地域づくり交流会』では、小・中・高校生の参加者も含め39名の参加がありました。弥彦村の方ばかりでなく、委員の活動を通して知り合いになった方やSNSでの告知によりこの会を知って興味をもってくださった方等、村外からの参加もあり、これまでにない程の活気溢れる多世代交流の場となりました。確実に輪が広がっていることに喜びを感じています。

「2年前に開催した『PR動画コンクール』を単年度で終わらせたくない。」「弥彦村民から自分達の住む弥彦村の魅力を再発見してもらい、より一層郷土愛を深めてもらおう。」と、第二回開催に向けた実行委員会を立ち上げ、現在準備を進めています。前回開催の告知不足の反省から、『PR動画コンクール』をPRする動画撮影も行いました。社会教育委員の会のYouTubeチャンネルにて見ることができます。是非、ご覧ください。

今後の活動としては、『あいさつマーク運動』に社会教育委員連合から受けた補助金を活動資金にあて、5年計画を立てて来年度から委員一同で取り組んでいきます。

未だにあまり周知されていない社会教育委員を知ってもらえるよう、社教だよりを通じて活動を紹介していきます。これからも弥彦村がますます活気あふれる村になるよう、皆様と共に活動していきますので、よろしく願います。



《求む！社会教育委員》

令和3年度 of 社会教育委員を公募します。任期は2年です。興味のある方は、下記事務局までご連絡ください。

委員長	渡辺 和也 (矢作)	副委員長	柏原 路子 (麓二区)
委員	那須 裕美子 (川崎)	委員	河井 昌之 (弥彦中校長)
委員	半間 義之 (矢作)	委員	石井 亘 (井田)
委員	阿部 朗子 (弥彦)		
事務局	堀 隆行 ・ 徳永 拓実 (教育課)		

※ ご意見、お聞きになりたいことがある方は、近くの委員、もしくは、教育課事務局にお電話ください。(事務局94-4311)